

①事業名	【62】地域文化芸術情報オンライン整備事業	
②主管課及び関係課（課長名）	文化庁文化部芸術文化課（課長：竹下 典行）	
③施策目標及び達成目標	<p>施策目標 8-1 芸術文化活動の振興          達成目標 8-1-4 地域の特色ある文化の力（「文化力」）を様々な分野に活用するとともに地域と芸術家・芸術団体の連携による新たな芸術活動を展開することにより、地域における文化芸術活動を活性化させる。</p>	
④事業の概要	<p>本事業は、各地域での文化芸術活動の振興に資する「芸術家」や「芸術団体」等の情報の全国的なデータベースを作成し、インターネットの即時性や双方向性を生かした様々な検索機能を用いて、各地域において文化活動を求める「自治体、公立文化施設、学校、文化団体等」と文化活動を行う「芸術家・芸術文化団体」との連携を促進すると共に、各地域の特色ある文化芸術活動の情報などを掲載し発信するポータルサイトとなるホームページを整備することを目的として実施するものである。</p>	
⑤予算額及び事業開始年度	<p>平成18年度概算要求額：50百万円          事業開始年度：平成18年度</p>	
⑥事業開始時において得ようとした効果	〔拡充事業の場合のみ記入〕	
⑦得られた効果	〔拡充事業の場合のみ記入〕	
⑧得ようとする効果及び上位目標との関係	<p>【得ようとする効果】          「芸術家情報」「芸術文化団体情報」等のデータベースを作成し、ホームページ上から一元的に提供することにより、自治体や学校、地域の文化団体などが、地域に関する芸術等に容易に連絡・連携できるようにする。          また、地域における文化芸術活動を地域住民のみならず、全国に向けて発信することにより、他の活動に影響を与えたり、外部からの評価を受けたりすることが可能となる。          これらにより、その文化芸術活動が一層活性化することが期待される。</p> <p>目標値：地域文化情報オンラインを活用し、地域と芸術家・芸術団体の連携による新たな芸術文化活動が展開される。</p> <p>本事業が効果を挙げることにより、各地域と芸術家・芸術団体・文化施設の連携が図られ、ひいては（施策目標）8-1にある「芸術文化活動の振興」という成果に結びつくものと考えられる。</p>	<p>⑨達成年度</p> <p>平成20年度</p>
		⑩必要性

		<p>ができるよう、情報通信技術など様々な方法を活用して、積極的に提供していくとともに、相談、助言等の窓口機能の整備を図る。」とされている。また、平成17年2月の文化審議会文化政策部会報告においても、地域文化の振興に当たっての課題の一つとして、「文化芸術に関する情報収集・発信をどのように進めるか」が挙げられており、国として支援を行っていくことが必要不可欠である。</p>
⑪効率性		<p>【事業に投入されるインプット】 本事業の予算規模は、50百万円である。 【事業から得られるアウトプット】 本事業の実施により、各地域において文化活動を行う「自治体、公立文化施設、学校、文化団体等」と「芸術家・芸術文化団体」との連携を促進し、地域における文化芸術活動の活性化が図られる。</p>
⑫想定できる代替手段との比較考量		<p>県内や市区町村内の芸術家や芸術文化団体のデータベースを作成している地方自治体もあるが、情報はそれぞれの地域内の情報に限られるため、地域の枠を超えた情報を手に入れることは出来ず、また情報量も限られている。また、芸術団体のデータベースや文化施設のデータベースを作成している文化団体もあるが、それぞれの団体内の情報に限定されるため、一元的に情報を得ることが出来ない状況にある。 また、地域で行われている文化芸術活動を積極的に情報発信することが求められているが、各地域においては情報発信の手法やノウハウが蓄積されておらず、人材も不足しており、有効な対策が求められている。 国として、既存の芸術団体データベースや施設データベース等との接続を図りながら、地域における指導者となりうる芸術団体・芸術家等の関連情報や地域の特色ある文化情報等を一元的に集約し提供することで、各地方からの情報入手を容易にすることが可能となると考えられる。 以上から、本事業によって効果が効率的に得られるものと判断。</p>
⑬有効性	指標・参考指標	<p>【指標】 本事業を活用して、地域と芸術家・芸術団体との連携が成立し、事業を実施した件数。</p>
	効果の把握の仕方	<p>本事業の効果は、掲載情報を活用して、各地域において芸術家・芸術団体との連携が成立した件数について、情報掲載団体・人材へのアンケート調査等により把握する。また、文化庁支援事業への活用状況についてアンケートを行うとともに、実際に連携が成立した例について、オンライン活用の実態等についてのヒアリング調査等を行い、効果の把握に努める。 また、「地域文化芸術情報オンライン」を活用するアクセス件数や情報掲載件数も活用し、事業の効果を検証する。</p>
⑭公平性、優先性		[政策の特性に応じて、必要により評価]
⑮評価に用いたデータ・情報・外部評価等		
⑯備考		

## 地域文化芸術情報オンライン整備事業

現 状

芸術家・芸術団体が大都市圏に集まり、地域との連携がとりにくい。  
全国的な体制がないため、他地域の特色ある文化芸術活動の情報が手に入れにくい。

目 的

「芸術家」「芸術団体」等の**全国的な情報データベース**による、「自治体、公立文化施設、学校、文化団体等」と「芸術家・芸術団体」との連携を促進。  
**特色ある各地域の文化芸術活動情報を提供**し、地域における文化活動を活性化。

概 要

全国の芸術家・芸術団体情報の提供

地域での活動を希望する「芸術家人材」「芸術団体」の情報を提供。

人材・団体募集情報の提供

地域で必要としている人材・団体募集情報

各地域の特色ある文化芸術活動

他地域の特色ある文化芸術活動情報を提供。

### 検索によるニーズと情報のマッチング

「芸術家・芸術団体」と「地域」の連携による地域文化芸術活動の活性化

### 地域文化芸術情報オンライン

#### 芸術家・芸術団体データベース

(芸術家・団体入力)

氏名 ジャンル,  
出身 活動内容  
対象 連絡先

#### 芸術家・芸術団体募 求情報

(学校・自治体等入力)

氏名 ジャンル,  
出身 活動内容  
対象 連絡先

#### 文化情報交流・交換掲示板

#### 特色ある地域の文化芸術活動情報

- 各地域での特色ある文化芸術活動
- 文化芸術によるまちづくりの事例

マッチング

ジャンルで検索

地域で検索

活動内容で検索

情報の全国発信